

シーボグ400MM

道糸入力方法「棚センサーブライト編」

PO 指定入力

指定入力とは当社棚センサーブライトまたはナイロン糸を巻かれるときに、次ページに記載の糸種・号数・巻き糸量の中から選択してセットするだけでデータが入力できる便利な方法です。

(タナセンサーブライト4号400mを巻いて入力することを例にしてご説明します。)

1. 道糸をレベルワインドに通してスプールの糸止めに結んでください。

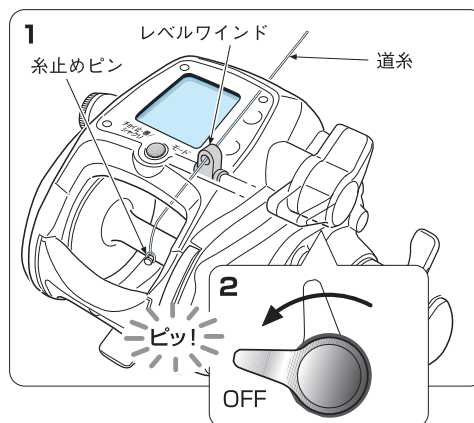
- ※付属の糸通しピン (P.14参照) を使うと簡単に通せます。
- ※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。
- ※ドラグを締め付けてください。

2. パワーレバーをOFFまで戻します。

3. リールを通电させ、パワーレバーをMAXの位置まで倒し最後まで道糸を巻いてください。

※接続方法についてはP.8「電源とのつなぎ方」を参照ください。

※道糸は約1kgのテンションで巻いてください。



- ・糸を巻き込まないように注意してください。
 - ・フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
 - ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。パワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。
- (※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。



注意

4. 表示が 0.0 のときに

底から/棚メモ スイッチと

モード (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチを同時に6秒間押し続けてください。

